



空からゼオン

—日本ゼオン川崎工場 編—



Zetpol®製造プラント

日本国内で初めての合成ゴム量産工場として川崎地区石油化学コンビナートの一角に誕生した日本ゼオン川崎工場。1959年の操業開始以来、自動車の重要保安部品に使用される耐油性・耐熱性に優れた特殊合成ゴム、手袋や化粧用パフ、不織布などに使われる高付加価値の合成ラテックスの製造拠点として存在感を示し続けており、その歴史は日本の合成ゴム工業の発展の歴史にも等しいと言えます。昨年7月には隣接する総合開発センターとともに天皇陛下の行幸を賜る光栄に恵まれ、社員一同、我が国産業の発展を担う者としての想いを新たにいたしました。

2019年9月には旧来品より耐熱性を10℃以上向上させた特殊架橋タイプ水素化ニトリルゴム (Zetpol®) の増産を予定しており、その高いガスケット耐熱性によりフッ素ゴムからの代替需要を大きく取り込めるものと期待しています。ゼオンはこれからもハイパフォーマンスな特殊合成ゴムを世の中にお届けし、自動車産業の発展に貢献してまいります。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話03 (3216) 1772



ZEON

株主のみなさまへ

第93期 年度報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

日本ゼオン株式会社

証券コード：4205

中期経営計画「SZ-20 PhaseⅢ」のもと、社員一人ひとりの成長を通じて社会と産業に貢献し、「化学の力で未来を今日にするZEON」の実現を目指してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第93期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

株主のみなさまには引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長 古河直純 取締役社長 田中公章

Q 2018年3月期の連結経営成績をどのように分析・評価されますか。

A 売上高、営業利益、経常利益で過去最高を更新し、事業基盤のさらなる拡充に成功しました。

連結財務ハイライト

■売上高	3,327億円	↑
前期比	15.7%増	
■経常利益	409億円	↑
前期比	28.6%増	
■親会社株主に帰属する当期純利益	131億円	↓
前期比	43.6%減	

2018年3月期の経営環境は、国内経済は緩やかな回復基調を持続したものの、米国政権の政策動向や中東および東アジアにおける地政学的リスクの増大など世界経済をめぐる懸念は払拭できず、全体として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループはエラストマー素材事業の採算性向上と生産・販売のグローバル展開に取り組む一方、高機能材料事業では付加価値の高い新製品の開発と事業の拡充に注力しました。また「ZΣ運動」を通じて、徹底したコスト削減に努めました。

この結果、当期の連結業績は、売上高が前期比15.7%増、営業利益が同じく26.4%増、経常利益が28.6%増となり、売上高と営業／経常の各利益段階で過去最高を更新しました。エラストマー素材事業では、低燃費タイヤ向けの汎用ゴムが伸張したこと、高機能材料事業では中国向け電子材料や光学フィルムが好調であったことが、それぞれセグメント収益に貢献しました。シンガポールの合成ゴム製造設備に関して減損損失147億円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比で43.6%減となりましたが、売上と本業の利益は拡大基調を維持しています。当社グループの戦略と方向性の正しさを再確認できた意義ある1年となりました。

なお、投資に関しては、エンジニアリングコストの上昇や研究開発の進捗の影響を受け、案件の一部に遅れがみられました。2020年のありたい姿実現に向けて遅れを挽回するべく、力を入れて取り組んでまいります。

Q 中期経営計画「SZ-20 PhaseⅢ」のビジョンと戦略のご説明をお願いします。

A 「深化」と「探索」、「ソリューション」、重点開発領域での新事業創出等を全社的な成長戦略に位置づけています。

当社グループでは、2021年3月期を最終年度とする中期経営計画「SZ-20(エスゼット 20)PhaseⅢ」の推進に力を注いでいます。本中期経営計画では「化学の力で未来を今日にするZEON」を2020年のありたい姿に掲げ、既存の事業・製品に付加価値をつけて深掘りする「深化」、外部との連携を密にして新しい事業・製品を掘り起こす「探索」、これらを通じてお客様と対話を繰り返し、お客様のご要望に対する解決策の提言や周辺サービスの提供を行う「ソリューション」、「地球環境」「健康と生活」「スマート化」の3つの重点開発領域における新事業創出、新製品開発といった戦略的な取り組みにより、さらなる成長を目指しています。

また、戦略遂行の基盤として、社員一人ひとりの成長を支援するとともに、チャレンジ精神に溢れた組織風土の育成に取り組んでおり、組織内の対話・組織の壁を越えた対話を促す「たいまつ活動」に加え、経営者と従業員の対話やダイバーシティの推進などを着実に進めています。

Q 現在の注力分野と、各分野における直近の取り組み内容を教えてください。

A シクロオレフィンポリマー(COP)やエネルギー用部材、カーボンナノチューブなど、さまざまな分野で新製品開発と用途開発を推進しています。

中期経営計画の初年度であった2018年3月期は、事業基盤の整備と事業領域の拡大に向けたさまざまな取り組みを実行しました。2017年8月には、日本、中国に続くアジアで3番目の技術サポート拠点として、シンガポールにアジア技術サポートラボラトリー(ATSL)を開設しました。溶液重合合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)分野では、2017年4月に住友化学と共同で設立したZSエラストマー社が、技術・生産における両社のシナジー効果で世界のリーディングポジションを目指しています。パウダースラッシュコンパウンドは、メキシコの新工場が2018年1月に本格稼働を開始、日本・中国と併せた年産5,600トン体制でお客様のニーズに応えています。

高機能材料のシクロオレフィンポリマー(COP)については、半導体容器やVR/AR*など新たな用途への展開を進めており、ゼオノアフィルム®は有機ELディスプレイ(OLED)位相差フィルムへの採用が期待されています。エネルギー用部材は、中国、韓国向けが急伸している電池材料について製品群とビジネスの拡大に努めています。その他、メディカルデバイス、カーボンナノチューブなど幅広い製品領域で、日本ゼオンならではのソリューション提案や新事業、新製品の開発を加速しています。

社員の力を結集し、中期経営計画「SZ-20 PhaseⅢ」で掲げた全社戦略をさらに前進させて事業の成長を遂げ、株主価値の拡大を追求してまいります。

*VR/AR:バーチャルリアリティ(仮想現実)/拡張現実

シンガポールにATSL (Asia Technical Support Laboratory) 始動！

2017年8月、日本、中国に続くアジア第3の技術サポート拠点としてシンガポールの地に始動したAsia Technical Support Laboratory (ATSL)。拡大を続けるASEAN・インド域の特殊ゴム需要にソリューションでお応えし、地域産業の発展にも大きく貢献してまいります。

特殊ゴムの成長市場にソリューションを提供

内燃機関搭載車の成長が見込まれるASEAN・インド域

パワートレインの電動化が進む先進諸国に比べASEAN・インド域は引き続き内燃機関が主流となることが予想されます。タイミングベルトや耐油ホース、オイルシールなど、内燃機関に搭載される多くの部品に使用される当社の特殊ゴムに対する需要も拡大が見込まれることから、この市場ニーズに対応した事業戦略の強化を喫緊の課題と位置付けております。

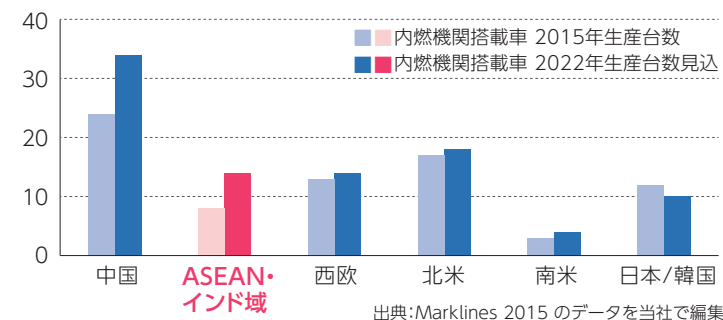
アジア3番目の技術サポート拠点として、ゼオンのプレゼンスを強化

シンガポール・サイエンスパーク内に開設し、昨年8月に運用を開始したAsia Technical Support Laboratory (ATSL)は、川崎、上海に続くアジア3番目の技術サポート拠点となります。依頼試験への対応や需要家への配合提案にとどまらず、ASEAN・インド域に密着して顧客価値を高めるさまざまなソリューションを提供してまいります。

ポリマーメーカーに寄せられる地域の期待にお応えし、ゴム加工産業の発展に貢献

ASEAN・インド域のゴム加工産業は配合技術・加工技術の両面で未だ成長段階にあります。このような先進市場とは異なる地域の特性に対応し、潜在需要にかなった配合提案や加工技術支援を通じて、拡大需要を取り込むのみならず、域内のゴム加工産業の育成とその技術・品質レベルの向上に大いに貢献していきたいと考えます。

■ 地域別四輪車生産台数予測 (単位:百万台)



■ 「アジア第3の技術拠点」としてのシンガポール



試験用ロールによる評価試験

ゴム材料比重測定実験

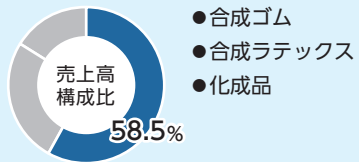
売上高

売上高の推移

概要

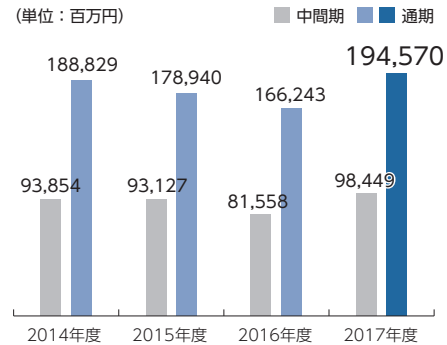
会社基盤を支える事業

エラストマー素材
事業部門



1,945億70百万円

17.0%
(前期比)



合成ゴム

国内販売、海外販売いずれも堅調に推移し、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

合成ラテックス

手袋向けや樹脂改質用途の販売が堅調に推移したことなどから、全体の売上高は前期を上回りましたが、市況価格悪化の影響を受けたため、営業利益は前期を下回りました。

化成品

国内販売・輸出・タイ子会社とも堅調に推移し、全体の売上高は前期を上回りましたが、原料価格上昇の影響を受けたため、営業利益は前期を下回りました。

● 当事業部門全体の売上高は1,945億70百万円(前期比17.0%増)、営業利益は221億69百万円(同7.9%増)となりました。



製品用途例

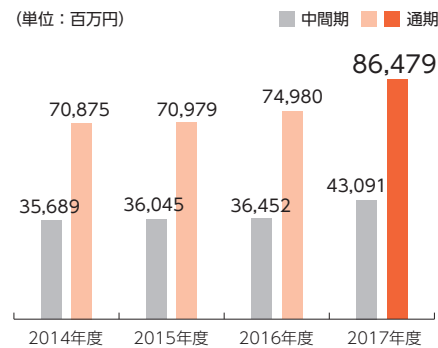
新規展開を中心とする事業

高機能材料
事業部門



864億79百万円

15.3%
(前期比)



高機能樹脂・部材

高機能樹脂関連では、光学・医療用途の販売が堅調に推移しました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムの販売が堅調に推移したことに加え、モバイル向け光学フィルムも好調でした。この結果、高機能樹脂および部材全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

情報材料

トナー、電池材料および電子材料の売上高が前期を上回りました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

化学品

合成香料の販売が堅調に推移しました。この結果、全体の売上高は前期を上回りましたが、営業利益は前期を下回りました。

● 当事業部門全体の売上高は864億79百万円(前期比15.3%増)、営業利益は167億42百万円(同70.3%増)となりました。



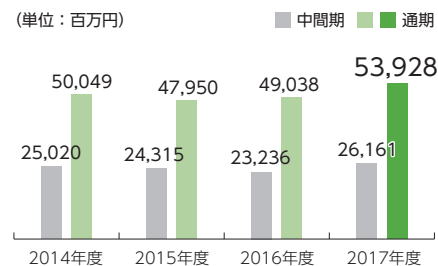
製品用途例

その他の事業部門



539億28百万円

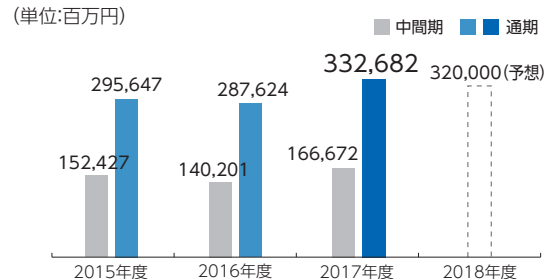
10.0%
(前期比)



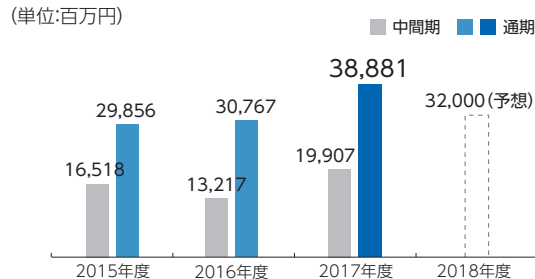
● 子会社の商事部門等の売上高が前期を上回りました。この結果、全体の売上高は539億28百万円(前期比10.0%増)、営業利益は32億6百万円(同11.9%増)となりました。



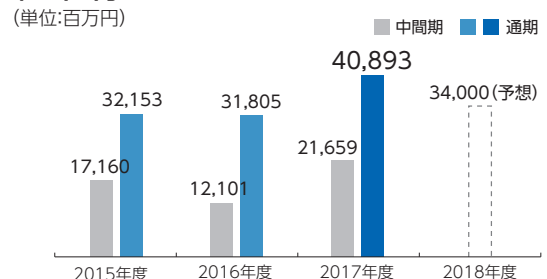
売上高



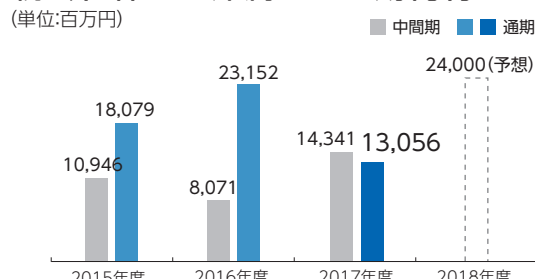
営業利益



経常利益

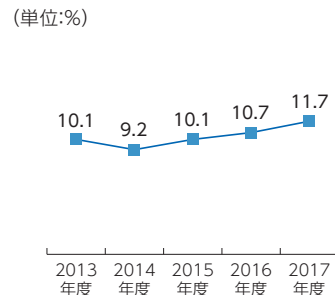


親会社株主に帰属する当期純利益

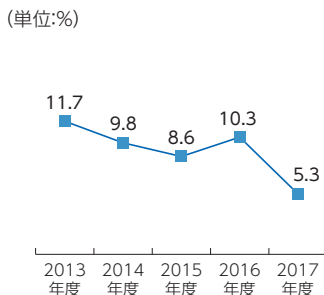


POINT ・各セグメントにおいて需要が堅調に推移し、売上高、営業利益、経常利益が過去最高を更新しました。
 ・シンガポールの合成ゴム製造設備に関する減損損失を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は減少しました。

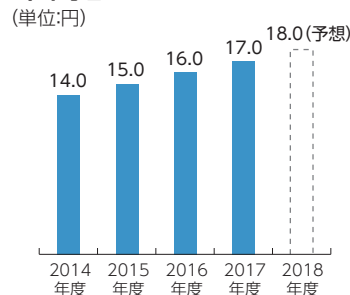
営業利益率*



ROE (自己資本当期純利益率)*

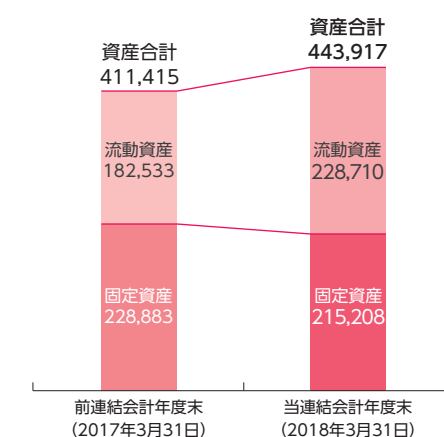


年間配当金

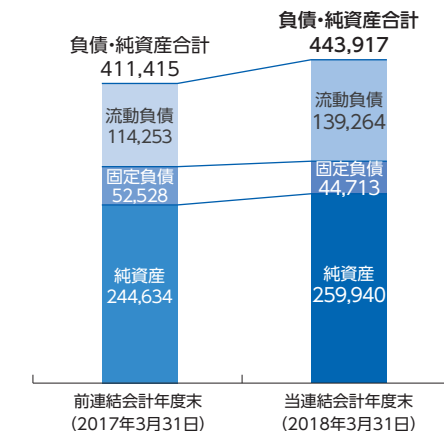


*営業利益率およびROE(自己資本当期純利益率)につきましては、各年度の通期実績値の推移をお示しております。

連結貸借対照表 (単位:百万円)

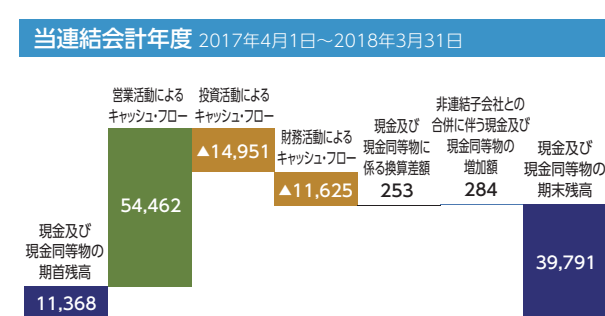


POINT 有形固定資産などが減少しましたが、現金及び預金、投資有価証券などが増加したことにより、資産合計は前年度末に比べて増加しました。



POINT 有利子負債などが減少しましたが、支払手形及び買掛金、繰延税金負債などが増加したことにより、負債合計は前年度末に比べて増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日	毎年3月31日(その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法	電子公告 http://www.zeon.co.jp/ (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507) 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式変更のご案内

2017年10月1日より、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。
 これにより、当社の株式は証券市場において100株単位での売買が可能となっております。

■ 会社の概要 (2018年3月31日現在)

商号 日本ゼオン株式会社
(ZEON CORPORATION)
設立 1950年4月12日
資本金 242億1千1百万円
本社 〒100-8246
東京都千代田区丸の内1-6-2
新丸の内センタービル
電話 03(3216)1772
従業員 3,328名(連結)

■ 役員 (2018年6月28日現在)

取締役会長 古河 直純	執行役員 小瀬 智之
取締役社長 田中 公章	執行役員 豊嶋 哲也
取締役 平川 宏之(☆)	執行役員 横田 真
取締役 西嶋 徹(☆)	執行役員 渡辺 誠
取締役 今井 廣史(☆)	執行役員 松浦 一慶
取締役 林 佐知夫(☆)	執行役員 川中 孝文
取締役 古谷 岳夫(*)	執行役員 江口 勉
取締役 藤澤 浩(*)	執行役員 曾根 芳之
取締役 伊藤 晴夫	執行役員 渡辺 えりさ
取締役 北畑 隆生	執行役員 富永 哲
取締役 南雲 忠信	
常勤監査役 南 忠幸	
常勤監査役 平川 慎一	
監査役 藤田 譲	
監査役 郡 昭夫	
監査役 西島 信竹	

(☆)の取締役は常務執行役員を兼務しております。
(*)の取締役は執行役員を兼務しております。

■ 株式の状況 (2018年3月31日現在)

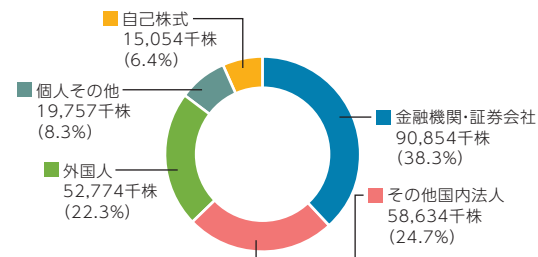
発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 237,075,556株
株主数 9,311名(前年度末比763名増)

大株主

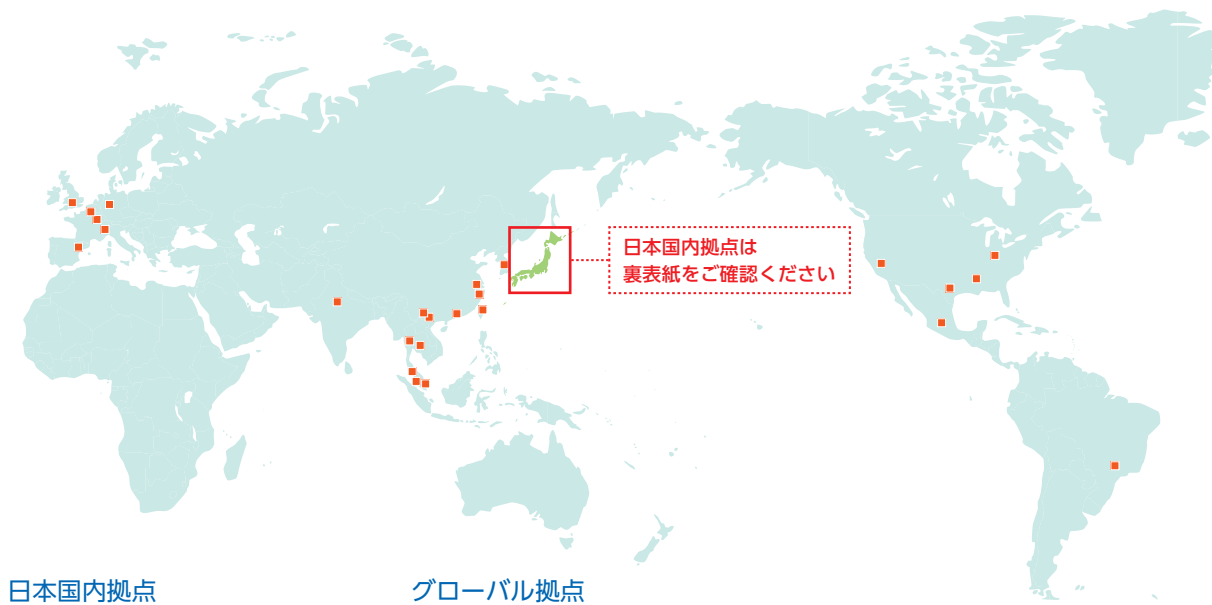
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
横浜ゴム株式会社	22,682	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	10,588	4.77
株式会社みずほ銀行	9,600	4.32
朝日生命保険相互会社	7,679	3.46
全国共済農業協同組合連合会	7,180	3.23
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	6,751	3.04
旭化成株式会社	6,438	2.90
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	5,403	2.43
GOVERNMENT OF NORWAY	4,642	2.09
農林中央金庫	4,000	1.80

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式15,054千株を保有しておりますが、上記の表には記載して
おりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



■ ゼオングループの主要拠点



日本国内拠点

- 日本ゼオン株式会社
 - 本社
 - 総合開発センター
 - 高岡工場
 - 川崎工場
- 株式会社オプテス
- ゼオンエフアンドビー株式会社
- ゼオン化成株式会社
- ゼオンケミカルズ米沢株式会社
- ゼオンナノテクノロジー株式会社
- ゼオンノース株式会社
- ゼオンポリミクス株式会社
- ゼオンメデイカル株式会社
- ゼオン山口株式会社
- 株式会社トウベ
- RIMTEC株式会社
- 東京材料株式会社
- 株式会社TFC
- ZSエラストマー株式会社
- 岡山ブタジエン株式会社
- ジスイنفotech株式会社

グローバル拠点

アジア・オセアニア

- 瑞翁(上海)管理有限公司
- 瑞翁貿易(上海)有限公司
- 瑞翁化工(上海)有限公司
- 瑞竹化工(上海)有限公司
- 瑞翁化工(広州)有限公司
- 瑞翁化成塑料(常熟)有限公司
- 泉瑞股分有限公司
- Zeon Korea Co., Ltd.
- Zeon China Pte. Ltd.
- Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd
- Zeon Asia Pte. Ltd
- Asia Technical Support Laboratory
- Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.
- Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.
- Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.
- Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- Zeon Research Vietnam Co., Ltd.
- Zeon India Private Limited

欧州

- Zeon Europe GmbH
- Zeon Europe GmbH - Branch in France
- Zeon Europe GmbH - Branch in Spain
- Zeon Europe GmbH - Branch in Italy
- Zeon Europe GmbH - Branch in U.K.
- Telene S.A.S.

北米・中南米

- Zeon Chemicals L.P.
- Zeon Chemicals L.P. R&D Center
- Zeon Chemicals L.P. Kentucky Plant
- Zeon Chemicals L.P. Mississippi Plant
- Zeon Chemicals L.P. Texas Plant
- Zeon Specialty Materials Inc.
- Zeon Brasil Ltda.
- Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.